

平成30年度 第2回 学生・教員懇談会報告書

1. 期日 平成30年11月16日（金） 12:30～13:00
2. 教職員 戸田晶久、村山恵子、有竹浩介、門口泰也、安川圭司、藤井由希子、岡崎裕之、濱村賢吾、松延千春、入倉充、森内宏志、高山寛、宮本明憲 計13名
(欠席：豊原敬三)
3. 学生 5年生から選出 計10名
4. 場所 大会議室
5. 懇談テーマ「実務実習について」～実務実習を終えて～
6. 出席学生10名に向けて

Q1. 実務実習を終えての感想を聞かせてください？

■病院実習について

- ・調剤室や病棟等、各担当の先生がマンツーマンで丁寧に対応してくれた。
- ・抗がん剤や抗菌剤、新薬や難病についても経験ができた。
- ・病院では様々な疾患を経験できた。
- ・病院が遠くて通うのに苦労した。もう少し近くの病院が良かった。
- ・内科ばかりの経験だったため、他の診療科も見てみたかった。
- ・整形外科ばかりの経験だったため、他の診療科も見てみたかった。

■薬局実習について

- ・薬局側が自分の希望（服薬指導等）を聞いてくれたので大変感謝している。
- ・在宅メインの薬局であったからか、空き時間が発生し自習時間となることがあった。

■病院・薬局共通

- ・実務実習事前学習で学んだことを現場で活かせたので大変満足している。
- ・時間管理やお客様によって対応が異なってくる等、現場だからこそその経験ができた。
- ・実習は大変だったが楽しくやれた上、大変勉強になった。
- ・病院、薬局の先生のご都合で急きょ空き時間が発生し自習時間となることがあった。
- ・病院も薬局も各1箇所しか経験できないのが残念。他の薬局、病院も経験してみたい。

■大学指導教員との連携について

- ・同級生の話を聞くと、教員による対応差を感じた。

<教員解答>

① 実習施設が遠かったことについて

対象の学生は朝倉地区で実習施設が1つしか無く、アサインできなかった。そのため、可能な限り一番近いところを調整した。調整の難しい場所については早めに学生の意見を聞き反映していくようにしていければと思う。

② 薬局と病院が各1箇所であることについて

各病院および各薬局の業務が忙しいことから「受入れという点」において、各1箇所しか手配できないのが現状。他施設での経験がしたい気持ちは十分に理解している。実習後にある実務実習ポスト教育で積極的に情報交換を行い活用して頂きたいと考えている。

③ OTCを増やしてほしいという意見について

OTCは実習のときにしか勉強できないわけではない。近隣のドラッグストア等に行ってみたりすることも大事だと思う。

④ Webで指導薬剤師の評価が見たいという意見について

指導薬剤師の評価と学生自身の見解に乖離があると、人間関係に影響を及ぼす恐れがあるため開示は避けたいと考えている。

⑤ 指導薬剤師が多忙で空き時間が発生することについて

病院も薬局も実業務に忙しく緊急な状況も多々発生してしまう。各施設への配慮も必要であり、実習施設に国家試験の問題集等を持っていき、そのような時間も有効に活用するようにして頂ければと思う。

Q2. 夏休みも実務実習期間であったがどう感じていましたか？

- ・病院実習から薬局実習にすぐには入れたため夏休みは無くても良かった。
- ・卒業研究もあったので夏休み期間は空けておいて欲しかった。

Q3. 実務実習の空いた期間に卒業研究を行いましたか？

- ・挙手を募った結果10名中3名が卒業研究を行ったと回答。

Q4. 実習中の大学指導教員との連絡頻度はどの程度でしたか？

- ・挙手を募った結果下記の通り。

連絡頻度	結果
0回	0名
1回	3名
数回	5名
頻繁	2名

Q5. 大学指導教員に実習先へ何回程度訪問して欲しいですか？

- ・挙手を募った結果下記の通り。

訪問頻度	結果
0 回	3 名
1 回	5 名
2 回	2 名

Q6．実務実習を経験して、将来、薬局と病院どちらに進みたいと感じましたか？

- ・挙手を募った結果下記の通り。

進路先	結果
薬局	3 名
病院	2 名
まだわからない	5 名

Q7．そのほかに要望・意見がありますか？

- ・抗がん剤の知識と抗菌剤の知識についてもっと授業に取り入れてほしい
- ・服薬指導の時に様々なお客様が来て対応が異なる。様々なケース（お客様）に対応できるような授業を取り入れてほしい
- ・複数学生での病院と薬局実習だったが、他の学生とのレベル差があり、実習がスムーズに行われなかった。実務実習事前学習を今以上にしっかり行い、レベル差を無くして欲しい。
- ・服薬指導を実務実習でしっかり行えるようにもっと服薬指導に力を入れて欲しい。

7．今後に向けて

本懇談会は、学生から忌憚のない意見が出された。学生の意見を前向きに検討し、対応する。

実務実習では、「実務実習では現場で様々な経験ができ満足している」等の前向きな意見も多くみられた。また主な改善要望としては、「他の施設も経験してみたい」、「実務実習事前学習の内容を現場で通用するような充実したものにしたい」などであった。

以上